



Title	デザイン理論 52号 目次
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2008, 52
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/53453">https://hdl.handle.net/11094/53453</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# デザイン理論 52/2008春

## 目次

創設50周年を迎える意匠学会 ― 会長就任挨拶に代えて ―	藤田 治彦	1
選挙管理委員会報告	小宮 容一	3

### 学術論文

《トリアディック・バレー》再考	青木 加苗	7
機械時代の映画性	伊集院敬行	21
― 中井正一の映画論におけるル・コルビュジエと精神分析理論 ―		
斎藤与里における西洋受容とスタイン・コレクション	宇野 仁美	35
― 「絵畫の新潮流と私見」を中心に ―		
C. R. マッキントッシュの空間構成の手法論について	川口 佳子	49
― インテリア・デザインにおける「空間内空間」の分析を中心に ―		
フランク・ロイド・ライトのテキスタイル・ブロック住宅の空間構成	末包 伸吾	63
クリストファー・ドレッサーのアート・ボタニー	竹内 有子	79
― ゲーテの形態学との比較を中心に ―		
中近世における韃靼人図の受容	並木 誠士	93
― 個人蔵本の紹介と位置づけ ―		

### 研究例会・分科会・大会発表要旨

#### 第194回研究例会 (2008. 2.16. 於：大阪工業大学)

アート理解, それは経験が尺度となる	神蔵理恵子	108
― ファーレ立川と東京ミッドタウンのパブリックアートを中心に ―		
視覚伝達における漢字のデザイン性に関する研究	徐 攀	110
― 象形性の復活 ―		

#### 第49回大会 (2007.11.10, 11. 於：神戸大学)

#### 研究発表要旨

エジプト・シナイ半島 ラーヤ遺跡出土にみる初期イスラーム時代の染織裂について	井関 和代	112
「誰が袖図」屏風制作の様相	奥田 晶子	114
― 小袖モチーフにおける文様表現に関する考察を中心に ―		
戦後における服飾をめぐる言説・実践に見る「日本らしさ」と戦前	安城 寿子	116
― 中原淳一と花森安治を例に ―		
デザイン要素としてのテクスチャ	田村 剛	118
― 景観の調和性向上をめざして		

アイリーン・ 그레이の屏風・インテリア・建築について	川上比奈子	120
屏風と住宅 E. 1027に共通する欠けた矩形と空隙		
山越邦彦の「構築」概念について	梅宮 弘光	122
—— 1920-30年代日本における構成主義思想受容の一側面 ——		
フィンランド木造建築と木の美について	小林 文菜	124
—— アールトの木の美学から21世紀の木造建築教育まで ——		

#### パネル発表要旨

ル・コルビュジエの二つのグリッド	伊集院敬行	126
トラセ・レギュラトゥールとモデュロール		
フォトコラージュによるインスタレーション作品の試み	川島 洋一	128
「世界の中の神戸 神戸の中の世界」		
スモール GUI デザイン	櫛 勝彦	130
固有性と普遍性をつなぐ空間構成の展開	末包 伸吾	132
環境共生と景観	徳岡 昌克	134

#### 書評・図書紹介

ANNE Massey 著	森山 貴之	136
『 <i>Hollywood Beyond the Screen: Design and Material Culture</i> 』		
トーマス・ハウフェ著／藪亨訳	今井 美樹	138
『近代から現代までのデザイン史入門 1750-2000年』		
土田真紀著	清水 愛子	140
『さまよえる工芸 —— 柳宗悦と近代』		
エドモンド・ドゥ・ヴァール著	大長 智広	142
『バーナード・リーチ再考 スタジオ・ポタリーと陶芸の現代』		
稲賀繁美編	永井 隆則	146
『伝統工芸再考 過去発掘・現状分析・将来展望 京のうちそと』		
太田喬夫・三木順子編	谷本 尚子	150
『芸術展示の現象学』		

#### 会報第63号

##### 投稿規程・執筆要領

##### 編集後記

##### 欧文要旨

表紙デザイン 肥後ユキコ